

広川町の 学校教育

町内小中学校の紹介 ②

下広川小学校と広川中学校に各学校の取り組みや子どもたちの様子、コロナ対策などを伺いました。

お問い合わせ

教育委員会事務局
学校教育係

☎ 0943-32-0093
内線 262・263



安達幸子 教頭

後藤哲也 校長

下広川小学校

Q. どのようなコロナ対策をしていますか？

古川校長 毎朝、子どもたちに体温を記入したチェックシートを提出してもらい、健康状況を把握しています。手洗いや手指の消毒、換気の徹底はもちろん、三密を避けるため、全校集会を放送で行っています。図書室など多くの生徒が集まる場所には、人数を制限し、分散して入室するようにしています。

下川教頭 放課後は教室やトイレなど、触れる回数が多いところを全職員で消毒しています。授業や部活動で使った教材や用具などは、生徒たちが自分で消毒しています。

Q. 学校の取り組みで特に力を入れていることは何ですか？

古川校長 多くの学校行事が中止になったため、生徒会執行部や学年のリーダーを中心に、子どもたちは自ら「今こそできること」を考え、活動しています。例えば、給食時間の校内放送で生徒会役員がDJ風の職員紹介をしたり、三密を避けて球技大会やクイズ大会、早押しゲームなどをしていきます。

下川教頭 ほかに本校のキャラクターの募集や、地域の人たちへの応援メッセージなど、コロナ禍でも新たなことを始めようと懸命に取り組んでいます。



Q. どのようなコロナ対策をしていますか？

後藤校長 子どもたちが自ら意識して三密を防げるよう、密になりそうな場所の床に、足の形をした「ステップマーク」を貼っています。このマークの位置に合わせて止まることで、ソーシャルディスタンスを保つことができるようにしました。

安達教頭 職員は各教室の机の配置を工夫し、英語科ではフェイスシールドを着けています。放課後は全職員で教室の机や椅子、トイレなどを消毒しています。

Q. 学校の取り組みで特に力を入れていることは何ですか？

後藤校長 本校は一人ひとりが安心して学べる学校を目指しています。教育相談週間でスクール・カウンセラーやソーシャル・ワーカーからアドバイスをもらい、子どもの心の健

康状態を把握し、そのケアに努めています。

安達教頭 教師の指導力を上げるため、毎週火曜日に「カリキュラム・マネジメント研修」も行っています。教師2人が講師となって、学校の教育目標の実現に向けて研修するものです。

Q. 具体的に授業で工夫していることを教えてください

後藤校長 教師が作成した計算問題を子どもたちが5分間で解く「スキルカップ」を行っています。10日間繰り返し行い、最終日には初日と同じ問題を解き、どれだけ正答数が増えたかを比べます。子どもたちは初日より問題を解くスピードが速くなり、正答数が増えたのを見て、計算力が上がったことを実感しています。今後も子どもたち全員が「わかった」「できた」と思えるような授業づくりに努めていきます。

Q. 具体的に授業で工夫していることを教えてください

下川教頭 体育の授業以外は、全員マスクやフェイスシールドを着け、机の間隔もできるだけ広くとっています。気温が高い8月ごろは熱中症

対策として、授業の途中に休憩や水分補給をこまめにはさむようにしていました。

古川校長 今後も子どもたちの心と体の健康を守るため、職員一丸となって取り組んでいきます。



古川志乃 校長

下川泰伸 教頭

広川中学校